



2018
6/16
 (土)

13:30 ~ 16:00
 (13:15 開場)
 会場：地域防災施設 鶴見川流域センター
 要申し込み

白井 義幸著 新横浜鳥物語、表紙より

鶴見川多目的遊水地の自然と役割

鶴見川多目的遊水地の運用が開始されてから今年で 16 年目となります。ふだんは新横浜公園として、スポーツ施設や公園として活用されている遊水地は、いざ、大雨が降ると増水した鶴見川の水を一時的に貯め、下流地域を水害から守っています。

かつて水害の常襲地帯であった遊水地周辺の地域は広大な湿地のある多様な鳥たちが暮らす自然豊かな場所でもありました。新横浜地域の自然と水害の歴史を知り、改めて、遊水地の機能を学習するイベントを開催します。



白井 義幸氏
 ウエルパス代表、
 新横浜鳥物語筆者
 郷土史研究家

.....プログラム.....

新横浜周辺の水害と自然の歴史の紹介
 現在の新横浜公園の自然の解説
 鶴見川多目的遊水地の機能と鶴見川流域水マスタープランについて解説
 質疑応答・交流会



岸 由二氏
 慶應義塾大学名誉教授
 国土交通省河川分科会委員

対象：大人（小学生5年生以上。小学生は保護者同伴。未成年者は保護者の了解のもと参加可能。）

定員：30名（先着順 定員になり次第締め切り） 参加費：無料

問い合わせ及び申し込み 鶴見川流域センター TEL045-475-1998 FAX 045-475-1999

主催 地域防災施設鶴見川流域センター 共催 連携鶴見川流域ネットワーク
 協力 日産スタジアム、ウエルパス、ドラゴンウォッチの会



予告 7月16日(月・祝)はセンター子ども夏まつり

「みんなで水マス バクの流域で楽しく水遊び！」